

子を持つ親の思い

勉強は子どもの自主性を尊重しながら、
礼儀は厳しく

てるや あきと
照屋 明都 さん (47)



現在、3人の子ともがいま

す。私の家庭での教育方針は「自主性」です。長女は小学2年生で、習い事をしてしています。子どもがやりたいと言ったことで、何が自分が好きなのか視野を拡げてもらいたいです。私は子どもが家庭学習をする際に、分からない問題があった場合は教えてあげるようにしています。コミュニケーションを取る事で、信頼関係を築くことができます。そうすることにより、子どもから学校生活の状況も自然な会話の中で聞くことができ、相談があれば打ち解けて話しをすることができます。厳しくしていることは、礼儀ですね。「ただいま」と言ったら「おかえり」と挨拶はコミュニケーションの基本であり、とても大事だと思います。「おかえり」と返答がない場合は言うまで「ただいま」と何度も言い続けます。家庭によって様々な教育方針があると思います。私は学習面では子どものやりたいことを見つけて、伸ばしてやること。生活面では、他人に対しての礼儀や思いやる心を学んで健やかに育てたいです。



3 家庭学習の重要性

家庭学習が、とても重要であるという事は子どもを持つ保護者であれば感じる事だと思います。家庭学習の重要性を一度整理しておきたいと思います。重要性を知ることによって家庭学習でどのようなことをすべきなのかが見えてきます。

家庭学習が
重要な理由は二つ

① 授業の内容を
補完するため

② 授業に備えるため

授業の内容を補完するというのは、学習した内容を確実に定着させるという事です。勉強を進めていく中で「できるようになる」「答えが出せる」ということはある程度できるかもしれませんが、確かな学力が身につくためには課題の本質を捉え、解決へのプロセスを論理的に整理して理解する「分かる」ということを重視しなければなりません。そのためには必要な問題演習や分からない箇所を確認し

て復習する必要がある、学校の授業だけでは時間が限られ、毎日取り組めない事もあります。それを補っていくために家庭学習がとても重要となってきます。授業に備えるというのは、授業の内容を少しでも理解するために事前学習をするという事です。翌日の授業の内容を少しでも把握しておくことで授業の理解が深まり、意欲も高まります。この二つに取り組むためには、家庭での学習ができる環境を整える事が重要です。特に低学年は、親がそばについて家庭学習を助けてあげないと、習慣化は望めません。親の意識が子どもの学力に大きく影響しますので、ぜひ、子どものために時間を作ってあげてください。

家庭学習の心得

①学習内容の定着

家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができ、「わかる」「できる」という自信になります。

②学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで勉強する習慣が身につきます。また、当たり前の習慣にもなります。学習習慣は低学年のうちから同じ時間に同じ場所で取り組むことが大切です。

③がまん強さ・根気・集中力をつける

家庭学習ではテレビやゲームなど様々な誘惑があります。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要です。

④家族のふれあい

「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」、「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてあげる」など家庭学習をしている子どもに親が関わることでコミュニケーションがはかれます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。



学校と家庭で教育する

学校での学びは、将来子どもたちが社会人として生きていくための基礎となる大切なものです。学校での学びのみならず、学校と家庭が連携することにより学習内容がより確かに定着し、学力の向上につながります。また、会話を通してコミュニケーション能力を養うこともできます。

浦添市では今後も子どもたちが意欲的に楽しく、学習しやすい環境づくりに努めていきますし、親子の絆が深まります。